

62 ミユビシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Calidris alba

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では旅鳥、本州、四国、九州、沖縄では旅鳥または冬鳥。兵庫県では主に4-5月と8-11月に見られる。大きな群れで行動することが多い。干潟でも見られるが、砂浜の海岸で波打ち際を走り回って貝類や甲殻類を採食することが多い。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、(加古川市)、(赤穂市)、(加西市)、(淡路市)、たつの市、香美町



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

本種は大群で行動することが多いとされるが、県内では大きな群れの記録はほとんどない。大抵は1羽か数羽の小群で記録されている。県北部でも記録はあるが少ない。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。